本町だより

横浜市立本町小学校　令和８年　10月　30日　発行　第644号

「自分を育てるとは」

校長　小正　和彦

本年度も後期に入りました。4月に入学した１年生はすっかり小学生らしくなり、毎日の学校生活を楽しんでいます。また、6年生はいよいよ小学校生活の集大成となる時期を迎えています。次のステップに向け、思い出に残る充実した時間となることを願っています。

10月２日の朝会、そして10月９日の期分け式で、全校児童に向けて話をする機会がありました。半年間の子どもたちの様子をもとに、次のような話をしました。

「本町小学校の学校教育目標は、1年生から6年生までの６年間を通して、みなさんに身に付けてほしい力を示したものです。その一つが『自分を自分で育てる力』です。『自分を育てる』とはどういうことでしょうか。例えば体を育てるなら、栄養バランスのよい食事や十分な睡眠、運動によって健康な体をつくることが挙げられます。では、心や頭を育てるにはどうすればよいのでしょう。一人ひとり体が違うように、心や考え方も違います。だからこそ、育て方もそれぞれ異なるはずです。大切なのは、自分に合った育て方を考えることです。そこで、みなさんに宿題を出します。『自分を育てる方法』を考えてみてください。」（10月２日　朝会）

翌日から校内を回ると、子どもたちがさまざまな声をかけてくれました。「クラスで話し合ったよ」「家で家族と話したよ」と、考えたことを嬉しそうに伝えてくれる姿がたくさん見られました。朝会での話がその場で終わることなく、学級や家庭での対話へと広がっていったことを大変嬉しく思いました。

学びは知識を積み重ねるだけではありません。人との対話や関わりを通して、新たな視点や気付きを得ることも大切な学びです。そのような学びの広がりを感じたため、期分け式（10月９日）では次のような話をしました。

「校長先生からの宿題について、クラスや友達、家族と一緒に考えてくれた人がたくさんいて素晴らしいと思います。そのように考えること自体が、自分を育てることにつながっています。一人ひとり、得意なことや苦手なこと、好きなことや性格も違います。だからこそ、自分に合った育て方も違います。大切なのは、今の自分を見つめ、なりたい自分に向かって何をするのかを考えることです。そして、そのための行動を一つずつ積み重ねていくことです。後期がますます楽しみになりました。先生たちは、これからもみなさんを応援していきます。」

ぜひご家庭でも、温かい励ましやアドバイスをお願いいたします。学校・家庭・地域が一体となり、一人ひとりの成長を支えていければと思います。引き続き、後期もよろしくお願いいたします。